

みやぎ 県議会 だより

平成23年 東日本大震災 特集 第98号
5月定例会
編集・発行 宮城県議会広報委員会 TEL022(211)3592
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

ホームページのご案内
県議会のあらまし、議員名簿、本会議と委員会日程等、各種（請願・陳情等）手続きの案内、会議録等を掲載しています。
インターネットで本会議、予算・決算特別委員会の生中継、録画画像をご覧いただけます。http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/

郷土再生へ積極提言

復興計画 財源確保を

7月21日・大震災特別委



大震災対策調査特別委員会の第5回委員会＝7月21日

5月20日、6月20日、7月21日、全議場で構成する大震災対策調査特別委員会を開催しました。5月20日は、東日本大震災後の復興、復興計画について執行部から説明を受け、質疑を展開。6月20日は宮城県復興計画第2次案、7月21日は復興計画第3次案について議論を交わしました。

大震災対策調査特別委員会が7月21日に開かれ、復興計画第3次案の概要を説明しました。復興計画第2次案の概要を説明し、復興計画第3次案の概要を説明しました。

「県民主体」の理念確認
大震災対策調査特別委員会の第4回委員会が6月20日に開かれ、復興計画第1次案の理念や財源確保の重要性について議論を交わしました。

きめ細かい支援要求
大震災対策調査特別委員会の第3回委員会が5月20日に開かれ、復興計画第1次案の復興への対応や被災者への支援について議論を交わしました。

連携強化へ意見交換
大震災対策調査特別委員会をお招きいただき、宮城県と復興計画第1次案の復興への対応や被災者への支援について議論を交わしました。

被災地の意向直訴

地方議員団 都内で要請活動

県議会と市町村議会議員が、被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。



経済産業省を訪れ被災地の要望を伝える議員ら

復興について、簡井隆農水副大臣は新たな資金制度の創設を示唆。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴
被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴
被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴
被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴
被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

5月定例会の概要

5月定例会は、5月31日から6月20日まで21日間の会期で開催しました。東日本大震災の復興に向けた取り組みを推進するための議案107件を原案の通り可決・同意・承認しました。

- 発議<1件>
- 宮城県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 可決・同意・承認した知事提出議案<107件>
- 平成23年度宮城県一般会計補正予算
- 宮城県県税条例の一部を改正する条例 など

可決した意見書<7件>

- 東日本大震災からの復興に向けた第二次補正予算の早期成立等を求める意見書
- 津波対策推進法案の早期成立を求める意見書
- 当面の電力供給対策に関する意見書
- 国の原子力防災対策の見直しを求める意見書
- 東日本大震災の総合的な復興ビジョンの早期策定等を求める意見書
- 学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書
- 東日本大震災の宅地・地盤被害等に対する公的支援制度の確立を求める意見書

採択した請願<3件>

- 宮城県図書館資料の東北歴史博物館への移管の即時停止並びに移管決定に到る手続きの公開に関することについて
- 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う、宮城県の子どもたちが安全に暮らせるように情報の公開・共有・教育機関などへの指導及び環境への配慮を促すことについて
- 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う、宮城県の子どもたちが安全に暮らせるように情報の公開・共有・教育機関などへの指導及び環境への配慮を促すことについて

専決処分についての付帯意見

「東日本大震災に迅速に対応するため、発災直後より4回にわたり補正予算を専決処分として行ってきたことは緊急やむを得ない状況であったと認められるが、議会に対しての事後の報告は、その内容や説明に十分配慮し、今後は極力臨時会の開催をもって対処されること」

質問者

一般質問には議員17人が登壇しました。須田善明、安部孝、仁田和廣、村上智行、佐々木幸士、渥美、本木忠一、佐藤友樹、佐々木喜藏、今野隆吉（自由民主党・県民会議）内海太、坂下晋、加賀たけし（改革みやぎ）本多祐一（社民党県議団）伊藤和博、庄子賢一（公明党県議団）横田有史（日本共産党宮城県議員団）

一般質問の要旨

収益力ある水産業育成

漁業復興に向けた施策の推進について、議員は、収益力のある水産業の育成を求め、被災地の復興につなげることを訴えました。

命を守る都市構築

防災のレジリエンスを高めることについて、議員は、命を守る都市構築を求め、被災地の復興につなげることを訴えました。

自然エネルギー活用検証

自然エネルギーの活用について、議員は、自然エネルギーの活用を検証することを求め、被災地の復興につなげることを訴えました。

仮設8月中に入居完了

仮設住宅の入居について、議員は、仮設住宅の入居を完了することを求め、被災地の復興につなげることを訴えました。

仮設3年以内に入居完了

仮設住宅の入居について、議員は、仮設住宅の入居を完了することを求め、被災地の復興につなげることを訴えました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

義援金の支給急ぐ

被災者への支給が遅れている義援金について、議員は、被災者への支給を急ぐことを求め、被災地の復興につなげることを訴えました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

県議会からのお知らせ

ラウンジコンサート

県議会では、年4回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由です。ぜひご来場ください。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

議員記者会見

6月20日の定例会閉会後、崑山和純県議会議長が記者会見を行いました。東日本大震災発生から3カ月が経過して、被災者の皆さんから直接、発災当時の話を聞く機会が増え、非常に悲惨な状況だったと実感している。できることを一つずつ積み重ね、復興が順調に進むよう努力したい」と述べました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

予算特別委員会

定例会開会日の5月31日、議員全員で構成する予算特別委員会を設置しました。委員長、副委員長の互選を行い、委員長に中村功委員（自由民主党・県民会議）、副委員長にゆきみゆき委員（改革みやぎ）を選出しました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。

被災地への意向直訴

被災地の意向を直接訴える活動を行いました。被災地の意向を直接訴える活動を行いました。